

# 環境にやさしい農業への取組について

国は、環境と調和した農林水産業を進めるための指針として「みどりの食料システム戦略」を掲げました。これは、将来にわたって食料を安定的に供給するために、持続可能な食料システムを構築していくものであります。

農業は食料供給だけでなく、国土保全や環境保全、生態系保全などの多面的な機能を有しており、それらの発揮に向けて環境にやさしい農業を進めていく必要があります。

また、出雲市は令和9年度にトキの放鳥を行うこととしており、環境にやさしい農業の広がり、トキの生息環境整備につながるだけでなく、トキをシンボルとするブランド化戦略（まちづくり）においても、重要な取組であると考えています。

本市における環境にやさしい農業の取組について、試験・研究を以下のとおり進めていますのでお知らせします。

## 1. 取組について

出雲市環境にやさしい農業研究会\*により以下の検討を進めています。

- 普及が可能な有機農業等の環境にやさしい農業技術体系の検討
- 農業所得の向上に向けた販売戦略の検討
- トキの放鳥に向け餌場確保につながる水田管理体系の検討

\*出雲市環境にやさしい農業研究会構成員：農業者、島根県、出雲市、J A しまね出雲地区本部・斐川地区本部



## 2. 具体的な検討内容

### (1) 普及できる有機等の栽培モデルの検討・実証

- 市内2か所（稗原地区、斐川南部地区）のほ場で令和6年から2年間、有機 JAS 基準での水稲栽培の実証試験を実施

### (2) トキの生息環境に資する水田管理（早期湛水）の検討・実証

### (3) 栽培に見合う販売戦略の検討

- 独自認証制度によるブランド化の検討
- 観光等を組み合わせた販路の検討 など

### (4) 普及啓発活動

- 啓発看板設置、PR シール作成・イベント時の配布 など

### (5) 優良事例調査

### (6) 農業者への情報発信の検討 など



なお、令和8年度も研究会で環境にやさしい農業の普及に向けた取組を進めていきます。

トキの放鳥に向けて、農業の使用規制などをすべての農家に  
お願いするものではありません。協力いただける農家や地域  
において、できることからご協力をお願いしていきます。

